

## 夕やけを眺めながら

『カステラ1番、電話は2番、3時のおやつは…』の歌の続きがスラスラ歌える生徒は、たぶんそう多くはないと思います☺カステラで有名な文明堂の創始者中川安五郎さんは、多くの文化に値打ちのあるものを残すことを念頭に、昔ながらの手法で現代に味を伝えていく姿勢を貫いています。これ以外にも先人から学ぶことは山ほどあり、歴史を知った上でおのれを省みることも、先の見えない時代においては必要なことかと感じています。夏休みがちょぴり延長された（おかげで!?)宿題に追われていたという人はさぞかし救われたかと思いますが、制約や制限が求められる生活がしばらく続くことを考えると、毎日を大切に過ごさなくてははいけませんね。パラリンピックに出場した選手が、次のように述べていました。『なかまってというのは、手をかしてくれる人と言うのではなく寄り添ってくれる人と言います』ひやくメートル走の伴奏者が、ロープでつながれた競技者と寸分たがわぬ姿で疾走しながら、行き先へと誘導していました。ロープは、ある時は絆と表現されたり、またある時は告白の機会の主役として登場したり…。あなたにとっての伴奏者は、誰ですか？

PS；それでも一人で悩んでしまったらこちらへ☞<http://notalone-cas.go.jp/under18/>

生徒指導専任より

